

第18巻 パークゴルフのハンデキャップ算出法

ゴルフでは、コースのメンバーであればハンデをつけてもらい、そのハンデに基づいてコンペ、大会を実施しています。しかし、実力がまったくわからないオープンコンペ(大会)ではそれぞれのハンデキャップが解からないので、ベリア方式や、ダブルベリア方式にてハンデキャップを決めて大会を実施しています。パークゴルフにおいては、ほとんどの大会はスクラッチ(ハンデなし)のストローク戦です。しかし、ベリア方式等の採用により実力差があってもこのハンデキャップ制を導入することにより誰にでも入賞するチャンスがあり、楽しい大会になると思います。しかし、パークゴルフの場合スコア差が大きいためゴルフの方式をそのまま取り入れることは難しいので、下記の算出方法としました。

ゴルフによるハンデ算出法の種類と特徴

- ・ベリア方式 18HRの中から6ホールを大会運営者側が隠しホールとして設定。運に大きく左右される。

$$\text{ハンデ} = \{ (\text{隠しホールの合計スコア} \times 3) - 72 \} \times 0.8$$
- ・Wベリア方式(新ベリア方式) 18ホールの中から12ホールを隠しホールとして設定。実力に近いハンデになりやすい。

$$\text{ハンデ} = \{ (\text{隠しホールの合計スコア} \times 1.5) - 72 \} \times 0.8$$
- ・NEWベリア方式(新、新ベリア方式) 18ホールの中から9ホールを隠しホールとして設定。運半分、実力半分。

$$\text{ハンデ} = \{ (\text{隠しホールの合計スコア} \times 2) - 72 \} \times 0.8$$

微調整のために80%をかけてハンデキャップを設定。(ゴルフはパー72)
 隠しホールは、大会運営者側があらかじめ設定している。

パークゴルフのハンディ算出方法

<基本視点>

- ・隠しホールは大会運営側が前もって設定しない。大会終了後、アトラダムに抽選等で設定した方が盛り上がる。
- ・計算方法を簡略にするためハンディの小数点以下は、四捨五入し整数とする。
- ・18HRのパー66で計算すると数字が大きくなるためパー54(1HRは、すべて3)で計算する
- ・ゴルフと違いスコア差が大きいため80%の微調整×150%としてハンディをつける。

- ・**ベリア方式** 隠しホールは9HRにつき3HRで運が大きく左右する方式。

抽選棒で3HRを決め、それを合計し、下記の見表からハンディを算出する。

$$18HR \quad \text{ハンディ} = \{ (\text{隠しホールの合計スコア} \times 3) - 54 \} \times 1.2 \quad (0.8 \times 1.5)$$

$$36HR \quad \text{ハンディ} = \{ (\text{隠しホールの合計スコア} \times 3) - 108 \} \times 1.2 \quad (0.8 \times 1.5)$$

18HR見表

隠しホールの合計	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
算出ハンディ	29	25	22	18	14	11	7	4	0	4	-7	-11	-14	-18	-22	-25	-29	-32	-36	-40

36HR見表

隠しホールの合計	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
算出ハンディ	54	50	47	43	40	36	32	29	25	22	18	14	11	7	4	0	-4	-7	-11	-14

隠しホールの合計	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
算出ハンディ	-18	-22	-25	-29	-32	-36	-40	-43	-47	-50	-54	-58	-61	-65	-68	-72	-76	-79	-83	-86

27HR見表

隠しホールの合計	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
算出ハンディ	25	22	18	14	11	7	4	0	-4	-7	-11	-14	-18	-22	-25	-29	-32	-36	-40	-43

・**Wペリア方式** 隠しホールは9HRにつき6HRで選ぶホールが多い分実力が反映されたハンディ算出法であるが、スコア上位者が有利でパークゴルフにおいてはスコアの差が大きいためスコアの悪い人は上位にこれないが……
 抽選棒で3ホール決め、その合計をスコアから引いて隠しホールの合計スコアとする。

18HR ハンディ = { (隠しホールの合計スコア × 1.5) - 54 } × 1.2 (0.8 × 1.5)

36HR ハンディ = { (隠しホールの合計スコア × 1.5) - 108 } × 1.2 (0.8 × 1.5)

18HR早見表

隠しホールの合計	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
算出ハンディ	11	9	7	5	4	2	0	-2	-4	-5	-7	-9	-11	-13	-14	-16	-18	-20	-22	-23

36HR早見表

隠しホールの合計	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
算出ハンディ	22	20	18	16	14	13	11	9	7	5	4	2	0	-2	-4	-5	-7	-9	-11	-13

隠しホールの合計	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
算出ハンディ	-14	-16	-18	-20	-22	-23	-25	-27	-29	-31	-32	-34	-36	-38	-40	-41	-43	-45	-47	-49

・**NEWペリア方式** 隠しホールは18HRにつき9HR、ペリア方式とWペリア方式の中間的な要素。(実力、運が半々)
 抽選棒はA1～B9まで(36HRはA1～D9又はA1～B9×2)用意し、アランダムに隠しホールを9HR設定。
 従って隠しホールは、18HRから9HR設定するのでAコース、Bコースにその9HRが偏る場合もある。

18HR ハンディ = { (隠しホールの合計スコア × 2) - 54 } × 1.2 (0.8 × 1.5)

36HR ハンディ = { (隠しホールの合計スコア × 2) - 108 } × 1.2 (0.8 × 1.5)

18HR早見表

隠しホールの合計	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
算出ハンディ	12	10	7	5	2	0	-2	-5	-7	-10	-12	-14	-17	-19	-22	-24	-26	-29	-31	-34

36HR早見表

隠しホールの合計	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
算出ハンディ	29	26	24	22	19	17	14	12	10	7	5	2	0	-2	-5	-7	-10	-12	-14	-17

隠しホールの合計	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81
算出ハンディ	-19	-22	-24	-26	-29	-31	-34	-36	-38	-41	-43	-46	-48	-50	-53	-55	-58	-60	-62	-65

【例】Newペリア方式の場合 (36HR)

	スコア	隠しホールの合計	算出ハンディ	ネット (NET)
A 氏	125	55	-2	123
B 氏	127	58	-10	117

隠しホールを合計し、実際のスコアに上記の表よりハンディを(+/-)してネットを算出し、そのスコアで比較する。

グロスでは、A氏が勝っているがNewペリア方式ではB氏が上位となる

グロス 実際のスコア

ネット 実際のスコアから算出ハンディを引いたスコア

同ネット(ハンディを引いたスコアが同じ)の場合は、グロス上位とする。